

平成22年度事務事業評価シート（平成21年度分）

予算科目	会計	一般会計	001	款	05	項	01	目	04
事務事業名	大曲地域職業訓練センター管理運営委託事業								
担当部署	農林商工部商業労政課	504000	電話	0187-63-1111			内線	252	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	03:活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり
	施策の大綱	05:雇用の安定、就労の促進
	施策	02:雇用環境の整備
	施策の内容	01:研修施設の活用促進
根拠法令等	独立行政法人雇用・能力開発機構委託に係る大曲地域職業訓練センター管理運営規則	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	大仙市・仙北市・美郷町地域における在職者や求職者に対して、各種職業教育訓練を行うために必要な施設を提供し、職業能力の向上による雇用の安定と就労の促進を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	大仙市・仙北市・美郷町地域の中小企業者、求職者及び地域住民。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	施設の管理運営業務を、職業訓練法人大曲仙北職業訓練協会に委託し、訓練協会では次のような事業を行っている。 ①普通職業訓練の実施 普通課程 2コース(木造建築科、建築板金科) 短期課程26コース(情報ビジネス科、各種技能検定講習、パソコン講習、外) ②企業内研修、事業主団体研修、求職者の研修、技能検定試験等の実施。 ③市民講座、講習会等の実施。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	地域の中小企業事業主や事業主団体等が行う従業員等の教育訓練や就職を目指す求職者等の職業訓練を実施することにより、職業能力の向上が図られる。また、市民に対して各種講座等を行う場を提供しており、地域と一体になっての施設の利用促進が期待できる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 普通職業訓練の実施回数	回	20	28	28
	② 職業に関する研修等の実施回数	回	445	474	501
	③ 地域住民の市民講座等の実施回数	回	54	49	57
成果 (事業の成果を測る)	① 普通職業訓練の利用者延人数	人	3,898	4,749	5,549
	② 職業に関する研修等の利用者延人数	人	15,685	15,714	15,391
	③ 地域住民の市民講座等の利用者延人数	人	12,836	11,656	11,277
投入コスト	決算額		9,320千円	9,422千円	9,335千円
		一般財源	8,197千円	8,447千円	8,566千円
	人件費		714千円	714千円	705千円
		一般職員の年間従事人数	0.1人	0.1人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	(決算額+人件費)	10,034千円	10,136千円	10,040千円

事業を取り巻く環境	<p>地域産業の振興のため、社会経済情勢の変化に的確に対応できる人材の育成及び雇用の安定と職業生活の充実を図るための必要な能力を開発する職業訓練の重要性が増している。</p> <p>また、長期化する地域経済の低迷に伴い、雇用環境は依然として厳しい状況が続き、再就職を目指す求職者の職業訓練のニーズが高まっている。</p> <p>国の事業仕分けにより、施設設置者の独立行政法人雇用・能力開発機構が平成22年度末で施設の設置及び運営を廃止し、希望する自治体へは建物を譲渡する方針となっている。</p>
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	雇用の安定と就労の促進のために、施設の活用による職業能力の開発支援に対する事業ニーズは高まっており、今後も国による設置・運営を継続しながら、市が事業の継続を堅持する必要がある。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	平成21年度に施設のパソコンを更新し、最新のOS、ソフトを導入したことにより、中央職業能力開発協会委託の情報ビジネス訓練を追加で行うなど、普通職業訓練の利用者が増加している。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置（従事職員数、臨時雇用等）により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	各種技能検定に対応した職業訓練のノウハウを持ち、大曲仙北高等職業訓練校を運営している職業訓練法人大曲仙北職業訓練協会が施設の管理運営を行うことで、効率性が図られている。 空き教室の汎用的な使用により、施設利用者の増加を更に見込む余地がある。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
A 現状のまま継続	地域の経済状況及び雇用環境の低迷に対応するため、職業能力の開発による雇用支援策は大変重要であり、今後も施設の維持管理に努めながら職業訓練の振興を図る必要がある。 施設の設置及び運営については国に対して継続を要望しており、市の事業についても現状どおり継続することが適当である。
B 改善しながら継続	
C 拡大	
D 縮小	
E 廃止	
現状	